

「情報共有システム(ASP方式)」及び「建設工事における遠隔臨場」の試行について

＜建設現場の生産性向上を目指して＞

神奈川県企業庁では、建設現場の生産性向上に向けた新たな取り組みとして、「情報共有システム(ASP方式)」及び「建設工事における遠隔臨場」を令和5年7月以降、試行しています。

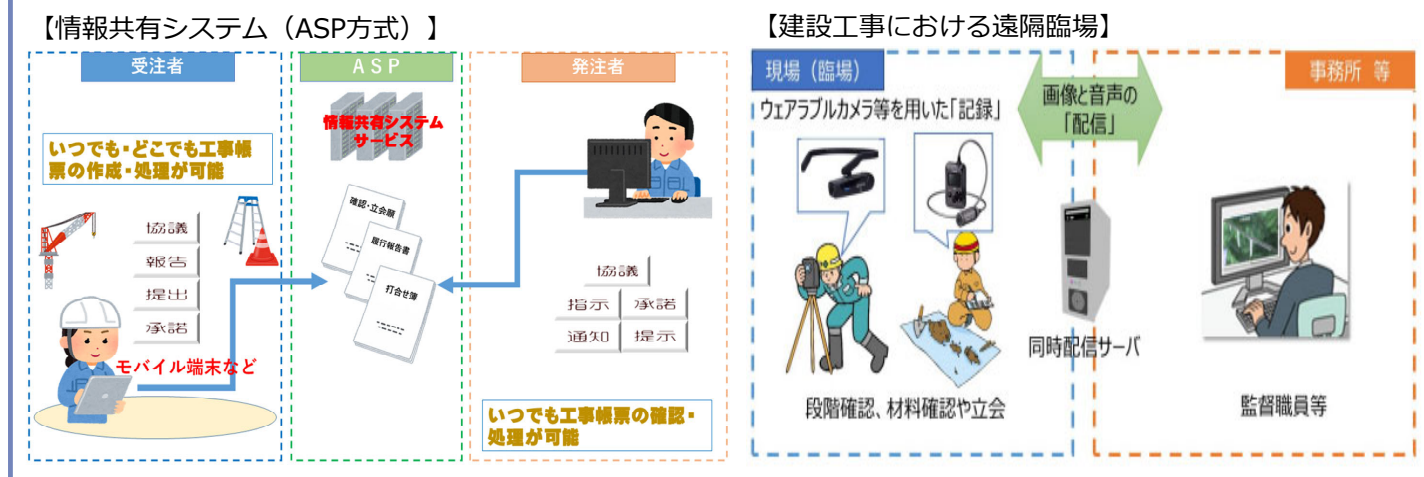
◆情報共有システム（ASP方式）

従来、書面により受発注者間で処理していた「工事打合簿」「履行報告書」「材料検査(確認)願」「確認・立会願」等の書類について、ASP（アプリケーション・サービス・プラットフォーム）が提供するオンラインサービスを利用して、「指示」「協議」「報告」等の行為を行うものです。

◆建設工事における遠隔臨場

従来、現場で立会っていた段階確認などの監督・検査業務を、受注者が動画撮影用カメラ（ウェアラブルカメラ等）により撮影した現場の映像と音声にて、Web会議システム（Zoom等）を利用して遠隔で行うものです。

【イメージ図】



- 今回の遠隔臨場の試行は「段階確認」や「材料検査」、「立会い」などを対象とします。
- 令和6年7月から全庁的に、情報共有システム(ASP方式)及び遠隔臨場について、それぞれ発注者指定型・受注者希望型を導入します。また、遠隔臨場を実施することによって発生する費用は発注者指定型・受注者希望型ともに発注者負担とし、設計変更にて対応します。